



図書館だより

2015年1月 (No. 94)

【開館時間】 10:00~19:00

【休館日】 毎月第3月曜日 (1月は19日です)
12月28日から1月4日まで

千歳市立図書館

指定管理者山三ふじや

〒066-0046 千歳市真町2196番地の1

TEL 0123-26-2131

E-mail toshokan@e-fujiya.com

ホームページ <http://library.city.chitose.hokkaido.jp/>



今月のおしらせ

第8回

図書館まつり



とき：平成27年2月15日 (日) 10:00~/ところ：千歳市立図書館

生前整理のススメ

14:00~15:30

講師：丹羽 志津子 (にわ しづこ) 氏

場所：2階会議室

定員：20名 **申込みが必要です。**

内容：片づけに悩んでいませんか？

これから先のあなたの人生をより
良くするために、今日からすぐにで
きる「片づけの方法」をお教えしま
す！

平成27年1月5日 (月) よりカウン

ターもしくは電話にて申込み開始。

皆さんの参加をお待ちしております！



ドキドキワクワク

不思議な世界へようこそ！

—科学と遊ぼう—

14:30~15:00

科学教室「味覚の不思議」

15:00~16:00

体験コーナー

場所：2階 AV 室

対象：小学生

内容：千歳科学技術大学理工工房の皆さん
が不思議な科学の世界を紹介してく
れます！

**申込み不要、
直接会場へお越しください。**



このほかにも「合同おはなし会」や「美文字教室」など様々なイベントを予定して
います。詳しくは図書館まつりのポスターをご覧ください。

～新着図書・視聴覚資料～

12月に入った本の一部です



<590 カ>

家事のきほん新事典

藤原 千秋 監修／朝日新聞出版
掃除、収納、洗濯、住まいの修理・修繕、料理…。毎日の家事がラクになるコツが満載！ひと目でわかるプロセス写真つきで、家事のきほんをわかりやすく丁寧に解説する。おつき合いのマナーや暮らしの知恵も紹介。



<913 カ>

しょっぱい夕陽

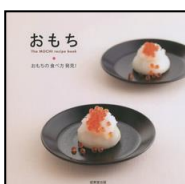
神田 茜 著／講談社
酸いも甘いも知っている。でも自分のことは、おぼつかない。人生、まだまだ折り返せてない！48歳年女・年男たちの5つの奮闘を描いた作品集。



<K37 シ>

調べてみよう、書いてみよう

最相 葉月 著／講談社
10代の子どもたちに向けて、文章の書き方を紹介。テーマの選び方から資料の調べ方、人の話の聞き方、原稿の書き方まで、作品を仕上げるために必要な技術やルールを具体的に解説する。



<596 オ>

おもち

入江 亮子 監修・料理／成美堂出版
雑穀や生こしょうを使った新しいつきこみもち、パーティで応用が利くディップ、冷蔵庫にある材料で簡単に作れるお雑煮、日本酒にぴったりのもちを使ったおつまみなど、さまざまなおもちの食べ方を紹介。



<913 ヒ>

探偵少女アリサの事件簿

東川 篤哉 著／幻冬舎
勤め先のスーパーをクビになり、地元でなんでも屋を始めた良太。すこぶる平凡な良太が、なんと殺人鬼の濡れ衣を着せられた。そんな折、自らを探偵と信じる10歳の美少女・有紗が現れ…。



<E キ>

キャンディーがとけるまで

もとした いづみ 作
石井 聖岳 絵／集英社
スーパーマーケットで、箱に「願い事がかなう」と書いてあるキャンディーを買ったおっくんと妹のあっこちゃん。「とのさま」になりたかったあっこちゃんと、「博士」になりたかったおっくんは…。楽しく笑える絵本。

おはなし会

1階おはなしコーナー

- 10日(土) 11:00～ くりねずみ(図書館職員)
- 11日(日) 11:30～ 日曜おはなし会 しゃぼんだま
- 21日(水) 11:00～ おはなしの会 ピノキオ
- 24日(土) 11:00～ くりねずみ(図書館職員)
- 25日(日) 11:30～ 日曜おはなし会 しゃぼんだま

上映会 2階AV室

- 1月11日(日)
14:00～15:30
「長ぐつをはいたネコ」
[2012年作品]
- 1月18日(日)
14:00～15:50
「グッモーエビアン！」
[2012年作品]



監督：山本 透
出演：麻生 久美子
大泉 洋 ほか

私のオススメ!



<913 オ>

『煙突の上にハイヒール』

小川一水 著 光文社

少し未来の日常を描いた短編集です。

背負って使える個人用ヘリコプターを購入したOLや、超小型カメラを猫の首輪に取り付けたら何が映るか?など、もう少ししたら実現するかもしれない科学技術。技術が発達したら、私たちの世界は劇的に変わるのでしょうか?

特にお勧めは「白鳥熱の朝に」。未知のウィルスによるパンデミックの後の世界を描いています。明日、私たちに訪れるかもしれない世界です。(花)